

# JEITA ナノエレクトロニクス技術フォーラム

—ナノエレクトロニクスが支える将来の社会基盤と展望—

IT・エレクトロニクス技術は、多くの産業において製品やサービスの高機能化や生産性向上を実現するためのキーテクノロジーとして、各種製品やサービス等の付加価値創造の源泉を担っており、社会の発展に大きく貢献してきました。今日の社会で扱う情報量の急激な増加に伴い、増大するエネルギー消費は、世界共通の課題である地球温暖化の一要因となっており、革新的なIT・エレクトロニクス技術開発による解決が急務となっています。革新技術の中でも特に、ナノエレクトロニクスは、従来のエレクトロニクスの機能を格段に向上させ、かつ大幅な省エネルギーを実現できるキーテクノロジーと期待されています。

JEITA(一般社団法人電子情報技術産業協会)では、これまで、当該分野の開発動向調査及び標準化活動を実施すると同時に、ナノエレクトロニクスの研究開発の重要性を提言してきました。また、ナノエレクトロニクスが今後、将来のアプリケーションにどう貢献していくか、各種動向調査しておりますが、これらの活動の一環として、「nano tech 2012」の期間に併せて東京ビッグサイトにて、一般公開のフォーラムを開催することとしました。この機会に是非ご参加頂けますよう、ご案内致します。

日時：平成24年2月16日(木)

13:30~17:00

場所：東京ビッグサイト会議棟

605会議室

主催：一般社団法人 電子情報技術産業協会

企画：技術戦略委員会/  
ナノエレクトロニクス研究会

参加費：4,000円(JEITA会員)

8,000円(JEITA非会員)

## Program

司会 二瓶 瑞久 ナノエレクトロニクス研究会委員〔(独)産業技術研究所〕

13:30~13:35	<b>開催の挨拶</b> 大谷 成元 ナノエレクトロニクス研究会主査(株)富士通研究所	
13:35~14:10	<b>我が国の産学連携の取組み</b> 吉田 健一郎氏 経済産業省 産業技術環境局研究開発課 企画官	産業競争力強化に向けて、強者連合による国家プロジェクトの取組みについての考え方等、我が国における研究開発の在り方や今後の政府としての取組みをご紹介頂き、将来の我が国の方向性を探ることとしています。
14:10~14:50	<b>未来を創るセンサネットワーク</b> 森川 博之 氏 東京大学 先端科学技術研究センター 教授	未来を創るICTの方向感として、「社会基盤としてのICT」と「エクスペリエンスとしてのICT」を示します。特にICTを使った、環境、都市、農業、医療、資源等それぞれの産業における新たなストーリー展開を考え、産業構造、経済構造、社会構造の大きな変革に繋げていくことが必要です。ICTがこのような新たな展開をみせる中、時系列データであるストリームデータを集めることの重要性を示す共に、センサネットワークやM2Mネットワークへの強い期待と課題を示します。
14:50~15:30	<b>ボディエリアネットワーク国際標準と産業界の被災地を含めた展開活動</b> 黒田 正博 氏 (独)情報通信研究機構 国際推進部門標準化推進室 マネージャー	ボディエリアネットワーク(BAN)の初めての国際標準 IEEE802.15.6が成立します。この標準仕様を概観するとともに、この仕様を基本にした産業界の業界標準化活動と被災地を含めた国内外の実際への適用活動を紹介いたします。
15:30~15:40	休憩	
15:40~16:20	<b>人に馴染み、生体に近い有機系人工デバイスを目指して</b> 三林 浩二 氏 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 教授	生体は有機材料で構成され、化学エネルギーで駆動するシステムです。本講演では、有機材料を母材にデバイス技術を組合せたバイオセンサや、体液中に含まれる成分で駆動するアクチュエータ等、新規な人工システムを紹介いたします。
16:20~17:00	<b>植物工場の現状と今後の課題</b> 池田 英男 氏 千葉大学 環境健康フィールド科学センター 特任教授 (大阪府立大学名誉教授)	「植物工場」では、周年生産、計画生産、安定生産、高品質生産などを可能とすることが期待されています。それを実現するためには、各種センサとそのデータを基にした環境調節技術、そして植物の生理と環境応答についての理解が必要になります。本講演ではその概要を説明します。

# JEITA ナノエレクトロニクス技術フォーラム

— ナノエレクトロニクスが支える将来の社会基盤と展望 —

# JEITA

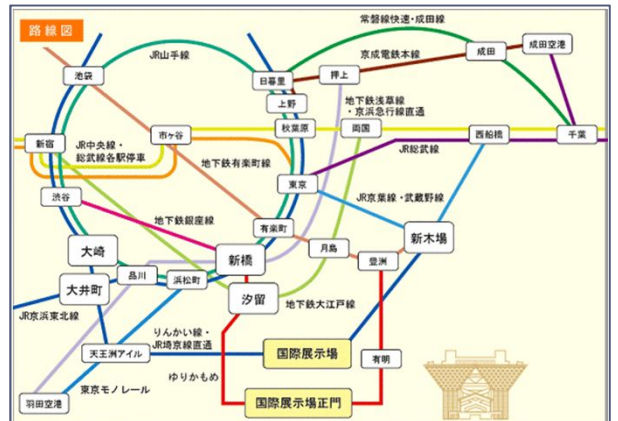
## 参加要領

- 日 時 平成24年2月16日(木) 13:30~17:00
- 場 所 東京ビッグサイト 会議棟605会議室  
http://www.bigsight.jp/press/access/
- 申込方法 参加申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。登録完了時には、ご登録E-Mailアドレスに確認メールをお送り致します。また、ご登録のご住所宛に「受講票」と「請求書」をお送り致します。下記のURLもご参照ください。  
http://home.jeita.or.jp/tech/
- 申込期限 平成24年2月9日(木) 必着
- 定 員 120名 (定員になり次第締め切らせて頂きますので、お早めにお申し込み下さい。)
- 参加費 4,000円(会員)  
8,000円(非会員)
- ※ JEITA会員になることを検討中の非会員は、会員扱いとさせていただきます。後日担当部門から会員手続きのご連絡をさせていただきます。
- お問合せ先 一般社団法人 電子情報技術産業協会 知的基盤部  
技術戦略グループ  
TEL 03-5218-1059 FAX 03-5218-1078  
E-mail: tsc4@jeita.or.jp

お申込みいただいた方には、ナノエレクトロニクス研究会で昨年度とりまとめた調査報告書を1部、当日お渡し致します。  
**報告書:**  
「”環境エネルギー”分野に貢献するナノエレクトロニクス研究開発」

## 会場へのアクセス

- りんかい線「国際展示場」駅下車 徒歩約7分
- ゆりかもめ「国際展示場正門」駅下車 徒歩約3分



(社)電子情報技術産業協会/知的基盤部行  
FAX:03-5218-1078 E-mail: tsc4@jeita.or.jp

## 「JEITAナノエレクトロニクス技術フォーラム」参加申込書

(いづれかに○をつけて下さい)

貴社名		会員確認	会員	・	非会員
-----	--	------	----	---	-----

※ 会員/非会員の確認は、JEITA会員一覧<http://www.jeita.or.jp/cgi-bin/member/list.cgi>でお願いします。

出席者氏名		所属役職名	
連絡先住所	(〒 )		
TEL番号		FAX番号	
E-mail			

※ 複数名の参加申込みの場合は、下記にお書き下さい。(受講票と請求書は、出席者毎に別々にお送りします。)

出席者氏名		所属役職名	
連絡先住所	(〒 )		
TEL番号		FAX番号	
E-mail			